



2020年3月12日

各 位

会社名 ネットワンシステムズ株式会社
代表者名 代表取締役 社長執行役員 荒井 透
(コード番号：7518 東証第1部)
問合せ先 管理本部 広報・IR室 山形 昌子
(TEL. 03-6256-0615)

(訂正) 「2019年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」の一部訂正について

当社は、2018年10月25日に開示いたしました「2019年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」の一部を訂正いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 訂正の内容と理由

訂正の内容と理由につきましては、別途、本日(2020年3月12日)付「2020年3月期第3四半期報告書及び四半期決算短信の提出、並びに過年度の有価証券報告書等、決算短信等の訂正に関するお知らせ」にて開示しておりますのでご参照ください。

2. 訂正箇所

訂正箇所は_____線を付して表示しております。なお、訂正箇所が多数に及ぶことから訂正事項については、訂正後のみ全文を記載しております。

以上

(訂正後)



2019年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2018年10月25日

上場会社名 ネットワンシステムズ株式会社 上場取引所 東
 コード番号 7518 URL <https://www.netone.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役 社長執行役員 (氏名) 荒井 透
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 勝村 忠雄 TEL 03-6256-0615
 四半期報告書提出予定日 2018年11月8日 配当支払開始予定日 2018年11月16日
 四半期決算補足説明資料作成の有無: 有
 四半期決算説明会開催の有無: 有 (アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2019年3月期第2四半期の連結業績(2018年4月1日~2018年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年3月期第2四半期	77,396	17.0	4,541	187.4	4,649	183.6	241	△72.1
2018年3月期第2四半期	66,126	4.8	1,580	—	1,639	—	863	—

(注) 包括利益 2019年3月期第2四半期 531百万円(△47.0%) 2018年3月期第2四半期 1,002百万円(-%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年3月期第2四半期	2.85	2.84
2018年3月期第2四半期	10.21	10.18

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2019年3月期第2四半期	104,097	57,030	54.6	671.61
2018年3月期	102,146	57,708	56.3	680.10

(参考) 自己資本 2019年3月期第2四半期 56,866百万円 2018年3月期 57,547百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年3月期	—	15.00	—	15.00	30.00
2019年3月期	—	17.00	—	—	—
2019年3月期(予想)	—	—	—	17.00	34.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無: 無

2019年3月期第2四半期末配当金の内訳 普通配当15円00銭 創立30周年記念配当2円00銭
 2019年3月期(予想)期末配当金の内訳 普通配当15円00銭 創立30周年記念配当2円00銭

3. 2019年3月期の連結業績予想(2018年4月1日~2019年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	175,000	14.1	12,000	65.4	12,000	61.4	8,000	81.8	94.51

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無: 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2019年3月期2Q	86,000,000株	2018年3月期	86,000,000株
② 期末自己株式数	2019年3月期2Q	1,328,296株	2018年3月期	1,384,268株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2019年3月期2Q	84,646,593株	2018年3月期2Q	84,598,752株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(追加情報)	9
(セグメント情報等)	10
(その他注記情報)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

①市場別の受注高・売上高・受注残高

当第2四半期連結累計期間においては、受注高は941億35百万円（前年同四半期比24.0%増）、売上高は773億96百万円（前年同四半期比17.0%増）、受注残高は856億60百万円（前年同四半期比25.6%増）とそれぞれ増加しました。

市場別の内訳は、パブリック（PUB）市場で、受注高が405億67百万円（前年同四半期比78.8%増）、売上高が216億81百万円（前年同四半期比34.1%増）、受注残高が443億63百万円（前年同四半期比67.8%増）となりました。

自治体のセキュリティ対策やクラウド基盤ビジネスが引き続き好調に推移したことが、受注高の増加を牽引しました。売上高についても好調に推移しています。

エンタープライズ（ENT）市場は、受注高が240億26百万円（前年同四半期比1.2%減）、売上高が233億67百万円（前年同四半期比8.1%増）、受注残高が231億94百万円（前年同四半期比2.0%減）となりました。

セキュリティ対策、クラウド基盤、働き方改革、IIoTのビジネスが、受注高・売上高ともに好調です。受注高は前年同四半期を下回ったものの、計画を超過して推移しています。

通信事業者（SP）市場は、受注高が132億25百万円（前年同期四半比2.6%増）、売上高が162億45百万円（前年同期四半比18.7%増）、受注残高が113億87百万円（前年同期四半比12.0%増）となりました。

クラウドサービス基盤ビジネスが受注高・売上高ともに好調です。

パートナー事業（ネットワンパートナーズ株式会社）は、受注高が161億40百万円（前年同四半期比3.4%増）、売上高が158億98百万円（前年同四半期比10.1%増）、受注残高が65億94百万円（前年同四半期比14.7%減）となりました。

主要パートナー向けのビジネス及び通信事業者経由のマネージドサービスが、受注高・売上高ともに好調に推移しました。

その他では、受注高が1億76百万円、売上高が2億4百万円、受注残高が1億20百万円となりました。

②商品群別の受注高・売上高・受注残高

商品群別の内訳は、機器商品群で、受注高が560億68百万円（前年同四半期比17.9%増）、売上高が444億12百万円（前年同四半期比15.8%増）、受注残高が288億78百万円（前年同四半期比20.8%増）となりました。

セキュリティ対策及びクラウド基盤ビジネスが受注高・売上高ともに好調に推移しました。

サービス商品群は、受注高が380億67百万円（前年同四半期比34.3%増）、売上高が329億84百万円（前年同四半期比18.7%増）、受注残高が567億81百万円（前年同四半期比28.3%増）となりました。

「統合サービス事業」に向けた提案が順調に進捗しており、受注高・売上高ともに増加しています。

③損益の状況

継続して原価低減・サービスの拡大・生産性の改善に努めたことにより、売上総利益は197億88百万円と、期初の上半期公表値に対する達成率（以下、公表値達成率）が113.7%となりました。販売費及び一般管理費が152億46百万円となった結果、営業利益は45億41百万円（公表値達成率168.2%）、経常利益は46億49百万円（公表値達成率172.2%）となりましたが、不正取引関連損失28億30百万円を計上したため、親会社株主に帰属する四半期純利益は2億41百万円（公表値達成率13.4%）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第2四半期連結会計期間末の資産合計は1,040億97百万円となり、前連結会計年度末に比べて19億51百万円の増加 (1.9%増) となりました。

資産の内訳は、流動資産が926億14百万円となり、前連結会計年度末に比べて19億75百万円の増加 (2.2%増) となりました。これは主に、たな卸資産が合計で84億3百万円、前払費用が25億30百万円増加し、一方で、現金及び預金が58億98百万円、受取手形及び売掛金が38億5百万円減少したことによるものです。また、固定資産は114億83百万円となり、前連結会計年度末に比べて23百万円の減少 (0.2%減) となりました。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末の負債合計は470億67百万円となり、前連結会計年度末に比べて26億29百万円の増加 (5.9%増) となりました。これは主に、前受金が35億32百万円増加し、一方で、その他の流動負債が13億7百万円減少したことによるものです。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末の純資産合計は570億30百万円となり、前連結会計年度末に比べて6億77百万円の減少 (1.2%減) となりました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益2億41百万円の計上と、配当金の支払い12億69百万円により利益剰余金が10億28百万円減少したことによるものです。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間においては、税金等調整前四半期純利益の計上や売上債権の減少、たな卸資産の増加等により、営業活動によるキャッシュ・フローは34億50百万円の支出となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローについては、営業用固定資産の取得等により6億79百万円の支出となり、また、財務活動によるキャッシュ・フローについては、配当金の支払い等により17億68百万円の支出となりました。その結果、現金及び現金同等物は58億98百万円減少し、四半期末残高は180億54百万円となりました。

なお、前年同四半期との比較は次のとおりです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動による支出は34億50百万円となり、前年同四半期に比べ101億85百万円の収入減となりました。これは主に、売上債権の減少による収入が122億68百万円減少、たな卸資産の増加による支出が34億15百万円増加し、一方で、仕入債務の減少による支出が49億19百万円減少したことによるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動による支出は6億79百万円となり、前年同四半期に比べ42百万円の支出増となりました。これは主に、投資有価証券の取得による支出が1億10百万円増加したことによるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動による支出は17億68百万円となり、前年同四半期に比べ3百万円の支出増となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想については、2018年9月28日の「業績予想の修正に関するお知らせ」で公表いたしました通期の予想数値から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2018年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	21,953	16,054
受取手形及び売掛金	<u>39,509</u>	<u>35,703</u>
有価証券	1,999	1,999
商品	1,904	2,559
未着商品	229	330
未成工事支出金	10,992	<u>18,632</u>
貯蔵品	10	16
前払費用	<u>8,618</u>	<u>11,149</u>
その他	<u>5,423</u>	<u>6,168</u>
貸倒引当金	△1	△1
流動資産合計	<u>90,639</u>	<u>92,614</u>
固定資産		
有形固定資産		
工具、器具及び備品	3,904	3,816
その他	1,221	1,137
有形固定資産合計	<u>5,125</u>	<u>4,954</u>
無形固定資産		
のれん	20	10
その他	1,780	1,610
無形固定資産合計	<u>1,801</u>	<u>1,620</u>
投資その他の資産		
投資有価証券	<u>271</u>	741
繰延税金資産	2,352	2,146
その他	1,956	2,020
投資その他の資産合計	<u>4,579</u>	<u>4,908</u>
固定資産合計	<u>11,506</u>	<u>11,483</u>
資産合計	<u>102,146</u>	<u>104,097</u>

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2018年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	15,553	15,456
リース債務	2,767	2,802
未払金	1,463	1,804
未払法人税等	1,556	1,841
前受金	12,449	15,981
賞与引当金	2,907	2,863
役員賞与引当金	99	63
その他	2,721	1,413
流動負債合計	39,518	42,227
固定負債		
リース債務	4,539	4,439
資産除去債務	380	383
その他	—	16
固定負債合計	4,919	4,840
負債合計	44,438	47,067
純資産の部		
株主資本		
資本金	12,279	12,279
資本剰余金	19,462	19,475
利益剰余金	27,061	26,033
自己株式	△1,088	△1,044
株主資本合計	57,715	56,744
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	0	3
繰延ヘッジ損益	△168	119
その他の包括利益累計額合計	△167	122
新株予約権	160	163
純資産合計	57,708	57,030
負債純資産合計	102,146	104,097

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)
売上高	66,126	77,396
売上原価	50,259	57,608
売上総利益	15,867	19,788
販売費及び一般管理費	14,287	15,246
営業利益	1,580	4,541
営業外収益		
受取利息	0	0
関係会社業務受託収入	30	39
販売報奨金	27	68
団体保険配当金	59	64
その他	16	19
営業外収益合計	134	191
営業外費用		
支払利息	31	28
為替差損	39	49
その他	3	6
営業外費用合計	75	84
経常利益	1,639	4,649
特別損失		
固定資産除却損	7	13
投資有価証券評価損	3	—
不正取引関連損失	—	2,830
特別損失合計	11	2,843
税金等調整前四半期純利益	1,628	1,806
法人税、住民税及び事業税	224	1,488
法人税等調整額	540	77
法人税等合計	764	1,565
四半期純利益	863	241
親会社株主に帰属する四半期純利益	863	241

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)
四半期純利益	863	241
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	0	2
繰延ヘッジ損益	138	287
その他の包括利益合計	138	289
四半期包括利益	1,002	531
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,002	531

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,628	1,806
減価償却費	1,316	1,298
のれん償却額	10	10
株式報酬費用	32	30
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△959	△43
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△91	△35
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	0	△0
受取利息及び受取配当金	△0	△0
支払利息	31	28
投資有価証券評価損益 (△は益)	3	—
不正取引関連損失	—	2,830
固定資産除却損	7	13
売上債権の増減額 (△は増加)	19,634	7,347
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△4,988	△8,403
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	△2,316	△3,050
仕入債務の増減額 (△は減少)	△5,017	△97
未払又は未収消費税等の増減額	△501	△1,235
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	△191	93
その他	△143	△190
小計	8,454	400
利息及び配当金の受取額	0	0
利息の支払額	△31	△28
不正取引による支出	—	△2,830
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	△1,812	△1,174
その他	123	181
営業活動によるキャッシュ・フロー	6,735	△3,450
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△327	△258
無形固定資産の取得による支出	△182	△244
投資有価証券の取得による支出	—	△110
関係会社株式の取得による支出	△120	—
貸付けによる支出	△1	△4
貸付金の回収による収入	5	5
その他	△11	△67
投資活動によるキャッシュ・フロー	△636	△679
財務活動によるキャッシュ・フロー		
配当金の支払額	△1,267	△1,267
リース債務の返済による支出	△497	△501
その他	—	△0
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,764	△1,768
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	4,333	△5,898
現金及び現金同等物の期首残高	17,236	23,953
現金及び現金同等物の四半期末残高	21,570	18,054

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

不正取引に関する事項

納品実体のない取引を取消処理したことで生じた差額1,712百万円は「流動資産のその他」に含めて表示し、債権については特別損失を計上しております。なお、今後の状況によっては、当社の財政状態や経営成績に影響を与える可能性があります。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2017年4月1日 至 2017年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額
	ENT 事業	SP 事業	PUB 事業	パートナ ー事業	計				
売上高									
外部顧客への 売上高	21,611	13,691	<u>16,162</u>	14,434	<u>65,899</u>	226	<u>66,126</u>	-	<u>66,126</u>
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	3	-	-	0	3	554	558	△558	-
計	21,615	13,691	<u>16,162</u>	14,434	<u>65,903</u>	781	<u>66,685</u>	△558	<u>66,126</u>
セグメント利益 又は損失(△)	581	715	<u>△218</u>	695	<u>1,774</u>	22	<u>1,796</u>	△216	<u>1,580</u>

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、サーバサービス事業等を含んでおります。

2. セグメント利益(営業利益)の調整額△216百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用等△216百万円が含まれております。全社費用は、主にセグメントに帰属しない一般管理費であります。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額
	ENT 事業	SP 事業	PUB 事業	パートナ ー事業	計				
売上高									
外部顧客への 売上高	23,367	16,245	<u>21,681</u>	15,898	<u>77,191</u>	204	<u>77,396</u>	-	<u>77,396</u>
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	0	-	-	0	0	112	112	△112	-
計	23,367	16,245	<u>21,681</u>	15,898	<u>77,191</u>	316	<u>77,508</u>	△112	<u>77,396</u>
セグメント利益	972	1,865	<u>588</u>	1,293	<u>4,720</u>	132	<u>4,852</u>	△310	<u>4,541</u>

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、サーバサービス事業等を含んでおります。

2. セグメント利益(営業利益)の調整額△310百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用等△310百万円が含まれております。全社費用は、主にセグメントに帰属しない一般管理費であります。

(その他注記情報)
 (四半期連結損益計算書関係)

販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は、次のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)
給与手当	5,316百万円	5,336百万円
賞与引当金繰入額	2,104	2,325
役員賞与引当金繰入額	30	63
退職給付費用	324	324
賃借料	1,270	1,361
減価償却費	631	621
のれん償却額	10	10